

各地の自然災害で被災された方々、戦禍の中にある方々に、心からお見舞い申し上げます。
神様の慰めと助けがありますように、お祈りしております。

10/29(日) 15:00 工藤篤子賛美コンサート vol.14 入場無料

木管楽器のような、やわらかく深みのある工藤篤子さんの賛美を、野田常喜さんのピアノでお楽しみください。
▶ライブ配信も行います。教会ホームページからご覧いただけます。



工藤篤子 (地中海ソプラノ)

札幌大谷短大音楽科卒業後、同短大音楽専攻科・研究科修了。1983年、マドリッド国立高等音楽院に留学。1987年、スペイン・ヤマハコンクール一位、ONCEコンクール二位。声質は地中海ソプラノで、オラトリオのソリストとして活躍。2000年、賛美伝道団体「工藤篤子ワーシップ・ミニストリーズ」設立。CD7枚、著書「賛美のこころ」好評発売中。



野田常喜 (ピアノ)

大阪音楽大学音楽学部ピアノ科卒業。京都市に生まれ、演奏活動の他、レコーディング・アレンジ・作曲、音楽家のサポートにも力を注いでいる。ジャンルを超えた音楽性と、心に深く語りかける瑞々しいピアノの音色には定評がある。コロナ禍で作曲したオリジナルピアノ曲をYouTubeチャンネル「名もなきピアニスト」で紹介。

教会からのオススメの一冊

「小学生のための聖書がまるごとわかる本」

鈴木崇巨・著
(いのちのことは社フォレストブック発行)

「小学生になった子どもに聖書を読ませてあげたいけど、むずかしいそう…」「子どもと一緒に聖書を読みたいけど、内容がわかるか心配…」そんな方にお勧めしたいのが本書です。

本書は、タイトルの通り、小学生が読んで理解しやすいように、聖書の内容をコンパクトに、それでいて、ポイントを押さえてまとめられています。聖書の中の有名で、大切な記事が抜き出されていて、最後まで読むと、聖書に何が書かれているのかがわかるようになっていきます。表紙に添えられた紹介文には、「教科書のようにくわしく説明」「背景を学べば意味がつかめる」「じつはいっしょに読むとおとなも目からウロコ」とあります。ぜひ、おとなの方にも読んでいただきたい一冊です。

聖書に慣れていないうちはなかなか読みにくいところも、丁寧に説明されています。「聖書を読み始めてみたけれど、わかりにくいところで投げ

出してしまった…」という方でも、本書を読んでもから再度チャレンジすると、今度は最後まで読めるかもしれません。

漢字には全てルビが振られ、やさしい言葉が使われています。むずかしい言葉にはカッコ付きで補足されていたり、章末に説明が添えられています。聖書の本文が引用されているところには、その箇所も記されていますので、お手元に聖書があれば開いて確認することができます。ところどころにはかわいいイラストも描かれており、親しみが湧いてきます。

本書を読むことで、聖書に親しんで、神様が私たちに何を伝えておられるのかを、知っていただきたいと思えます。また、お読みくださってわからないことがあれば、お気軽に教会にお尋ねください。



宝塚栄光教会

牧師：岩間 洋

〒665-0021 宝塚市中州1-15-9 TEL:0797-73-6076

E-mail: info@takara-eikou.com https://www.takara-eikou.com

礼拝 毎週日曜日
10:30~11:40

希望のダイヤル(聖書のお話)
0797-77-3746
毎週更新。24時間つながります。
ホームページからも利用できます。



わたしたちは旧・統一協会、ものみの塔(エホバの証人)、モルモン教ではなく正統的なプロテスタントのキリスト教会です。お困りの方はご相談ください。

通常10月は 秋の深まりを感じる頃であるが 今だに汗をぬぐう日々である



戸をたたくキリスト

ホルマン・ハントというイギリスの画家が描いた、戸をたたくキリストの絵をご存知ですか。キリストが片手にカンテラをさげて、家の戸をノックしている絵です。キリストがたたき扉には、外にノブが付いていません。中にいる人が開けなければ、戸は開かないのです。

私は、この絵を見るたびに、胸が締め付けられる思いがします。私はかつて、ずいぶん長い間、キリストを外に立たせたまま戸をたたき続けさせた者です。キリストは、私の所に来たいと願っているのに、私のほうが「いいえ結構です」「宗教なんかありません」「まだまだやりたいことがいっぱいありますから、束縛されたくありません」などと、勝手なことを言って拒んでいました。今にして、何ともしたいない、また何と申し訳ないことをしていたのだらうと思います。

しかし、キリストは、そんな傲慢で強情な私を、なお愛して、忍耐して、戸をたたき続けてくださったのです。そのキリストの愛がわかったのは、自分の罪がわかり、神の前に

悔い改め、この私の罪のためにキリストは十字架で死なれたのだと信じた時でした。

聖書にこう書かれています。「見よ、わたしは戸の外に立ってたたいている。だれでも、わたしの声を聞いて戸を開けるなら、わたしはその人のところに入って彼とともに食事をし、彼もわたしとともに食事をする。」(ヨハネの黙示録3章20節)

キリストは、決して戸をこじ開けたり、蹴破ったりして、無理に入ろうとはしません。ただ、中の人が開けるのを待って、やさしく戸をたたき続けるのです。

キリストは、あなたの心の戸をたたいておられます。あなたがその声を聞いて、自分で戸を開けるなら、キリストはいつでも中に入り、あなたの魂の内に、すばらしい救いのみわざをなしてください。

あなたには戸をたたく音が聞こえませんか。聞こえているのに、戸を開けるのをためらったり、拒んだりしていると、やがてキリストは前から立ち去ってしまうかもしれません。今、心の戸をお開けください。



「マルバルコウ」－丸葉縷紅－

江戸時代の嘉永年間に 渡来したという
マルバルコウは 実は 観賞用に栽培されたと
草木図説(安政3～文久2)に 描かれている

原産は北アメリカ
ヒルガオ科の つる性植物である
たくましい繁殖力で 本州中部地方以西に 野生化している
畑地 荒地 道端 人家の周りでも見ることができる
フェンスや 他の植物などに からみついて広がる
旺盛につるを伸ばしながら 次々と花を咲かせる

小さな五角形で ラッパのような型をしている
朱赤色の花で 中心部は黄色
直径1.5cmぐらいの かわいい花だ

花が終わると アサガオのような種ができて
次の年も そこで咲いている
小さいが 強い花である

そこで イエスは 言われた
「神の国は 何に似ているか 何にたとえようか
それは からし種に似ている 人がこれを取って 庭に蒔くと
成長して木になり その枝には 空の鳥が巣を作る」

ルカ13章(聖書)